

平成24年7月30日

日本曹達株式会社  
農業化学品事業部 普及グループ

## 日曹農薬 登録のお知らせ

平素より日曹農薬の普及拡販にご協力を頂き誠に有難うございます。  
この度下記農薬が平成24年7月11日付けで登録変更となりましたので、ご連絡申し上げます。  
今後とも、ご指導・ご鞭撻頂きますようお願い致します。

(記)

「日曹フロンサイドSC」

(農林水産省登録 第18751号)

### 【変更内容の概要】


下記の作物が登録追加・変更になりました。

1. 作物名「たまねぎ」(適用病害虫名：灰色腐敗病、べと病、灰色かび病)を追加。
2. 作物名「あずき」(適用病害虫名：炭疽病、菌核病、灰色かび病)を追加。
3. 作物名「チューリップ」(適用病害虫名：微斑モザイク病、条斑病)を追加。
4. 作物名「ばれいしょ」に適用病害虫名「夏疫病」を追加。
5. 作物名「ばれいしょ」の適用病害虫名「疫病」の、使用時期「収穫14日前まで」を「収穫7日前まで」に変更し、希釈倍数「1000～2000倍」を追加。
6. 作物名「りんご(苗木)」の適用病害虫名「白紋羽病」に、使用方法「20分間苗木浸漬」を追加。
7. 作物名「いちご」(適用病害虫名：炭疽病)を追加。
8. 「使用上の注意事項」について、以下を追加。
  - ・いちごに使用する場合、新葉に薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
9. 「使用上の注意事項」について、以下を変更。
  - ・小麦、ばれいしょ、たまねぎに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。

— 次ページに続く —

【 適用病害虫名と使用方法 】

( **枠線太字** が変更部分 )

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
りんご(苗木)	<b>白紋羽病</b> <b>紫紋羽病</b>	500		<b>植付時</b>	1回	<b>20分間</b> <b>苗木浸漬</b>	2回以内 (苗木浸漬は1回 以内、土壌灌注は 1回以内)
			25~50 L/樹	植付後 但し、収穫開 始1年前まで		土壌灌注	
<b>いちご</b>	<b>炭疽病</b>	<b>1,000</b>	<b>50mL/株</b>	<b>育苗期</b>		<b>灌注</b>	<b>1回</b>
<b>あずき</b>	<b>菌核病</b>	<b>1,000~</b> <b>2,000</b>	<b>100~</b> <b>300L/10a</b>	<b>収穫21日前</b> <b>まで</b>	<b>3回以内</b>	散布	<b>3回以内</b>
	<b>炭疽病</b> <b>灰色かび病</b>						
<b>たまねぎ</b>	<b>灰色腐敗病</b> <b>べと病</b>	500	25L/10a	<b>収穫3日前</b> <b>まで</b>	<b>5回以内</b>	散布	<b>6回以内</b> ( <b>苗根部浸漬は</b> <b>1回以内、散布は</b> <b>5回以内</b> )
	<b>灰色かび病</b>						
ばれいしょ	疫病	<b>1,000~</b> <b>2,000</b>	100~ 300L/10a	<b>収穫7日前</b> <b>まで</b>	<b>4回以内</b>	種いも 瞬間浸漬	6回以内 (種いも浸漬は 1回以内、植付前 の土壌混和は 1回以内、散布は 4回以内)
	<b>夏疫病</b>	<b>2000</b>					
	そうか病	100	—	植付前	1回		

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
<b>チューリップ</b>	<b>微斑モザイク病</b> <b>条斑病</b>	<b>500</b> <b>mL/10a</b>	<b>100</b> <b>L/10a</b>	<b>育苗期</b>	<b>1回</b>	<b>全面散布</b> <b>土壌混和</b>	<b>7回以内</b>

— 次ページに続く —

【お願い】 <安全使用について>

いちご分野での使用に際し、下記の使用上の注意事項に関し、厳守くださいますようお願い申し上げます。  
また、関係機関の皆様におかれましては、使用者様へ周知くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

( 下線部 が変更)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
いちご	炭疽病	1,000	50mL/株	育苗期	1回	灌注	1回

<「使用上の注意事項」の追加>

・いちごに使用する場合、新葉に葉害を生じるおそれがあるので注意すること。

- ◎ 本剤は、皮ふ感作性を有するため、皮ふかぶれ等を生ずることがありますので、いちごの使用においては、以下の点に特にご注意ください。
- ① かぶれやすい体質の人及び本剤または他剤においてかぶれた経験のある人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触はさけること。
  - ② 施設内では使用しない。(育苗ハウスは施設に該当。)
  - ③ 薬剤調製、処理、処理後の作業時において、メガネ、マスク、不浸透性手袋、防除衣に係る注意事項を遵守すること。
  - ④ 処理後から再入園までの期間は、できるだけあけること。  
(7~10日間を目安に現地作業事情を考慮し、できるだけ期間をあけること。)
  - ⑤ 育苗管理作業を済ませてから、本剤を使用すること。
  - ⑥ 高温、多湿時の長時間の散布(灌注)作業および管理作業はさけること。
  - ⑦ 処理後の採苗・定植作業時は、必ず手袋を着用して作業をおこない、直接苗(土壌も含む)に触れないように注意すること。
  - ⑧ 処理および作業時は風通しが良い、常に換気できる環境下となるよう努めること。

以 上

札幌営業所 TEL:011-241-5581  
 仙台営業所 TEL:022-227-1741  
 東京営業所 TEL:03-3279-6961  
 信越営業所 TEL:0255-81-2323

名古屋営業所 TEL:052-238-0003  
 大阪支店 TEL:06-6229-7343  
 松山営業所 TEL:089-931-7315  
 福岡営業所 TEL:092-771-1336